

学朋舎 Let's の冬期講習

学朋舎 Let's は冬期講習も全力投球します！一人ひとりが満足頂ける納得の講習をおこないます。かつて大手塾最難関クラスの担当をしていた最高の講師陣による「考える力」を伸ばす授業を体験してください。一度授業を受けていただければ、その良さをおわかり頂ける自信がありますので冬期講習にご招待いたします！

現3年生 (全4日間)
半額(50%引)ご招待!

3年生 2科目 初めてのの方は
8,640円 → **4,320円**
※講習受講後、1・2月から入塾の方は入会金より4,320円減額しますので、講習費は実質無料ご招待!

日程 12月26日(水)・27日(木)、1月5日(土)・6日(日) 時間 12:50~14:20
2月からの新年度にスムーズに入るために塾の勉強に触れるいい機会です。楽しく勉強し、自分の考えを言えるようになり、そしてしっかり手を動かせるようになることを目標にします。今回は1クラスのみ設定となりますので、ご希望される方はお早めにお申し込みください。

募集定員
1クラス設定のため、内部生を含めて12名の定員となります。満席の際はご容赦ください。

現4年生 (全6日間)
半額(50%引)ご招待!

4年生 2科目 初めてのの方は
19,728円 → **9,864円**
4科目 19,728円

日程 12月26日(水)~28日(金) 1月4日(金)~6日(日) 時間 8:50~11:20(2科目)
本格的な受験学年スタート前に、算数の受験勉強に必要な小数、分数計算などの計算力や図形の基礎知識を学習します。国語は初めて読む文章をしっかりと把握するという読解問題の基礎訓練をします。定員に達する可能性もありますのでご希望の方はお早めにお申し込みください。

募集定員
冬期講習は3名の募集となります。2月からの新5年生は3クラス体制になる予定ですが、現在は受け入れ可能人数が少ないので満席の際はご容赦ください。

現5年生 (全8日間)
10,800円割引!

5年生 4科目 初めてのの方は
54,000円 → **43,200円**

日程 12月26日(水)~29日(土) 1月4日(金)~7日(日) 時間 8:50~14:10
5年生1年間で押さえておきたかった事項の復習を、重点項目を中心に学習します。6年生になると問題はより複雑になります。その前に基本的な考え方がしっかり身につけられるように一から考え方の確認をしていきます。毎週のテストではできても少し経つとできなくなってしまう、これは問題の考え方を理解しているのではなくただ暗記しているだけの証拠です。学朋舎Let'sではしっかりと6年生につながる学習をさせていただきます。

現5年生 (新6年生) 基礎から中学受験コース 10,800円割引!

初めてのの方は 4科目
38,880円 → **28,080円**

日程 前期/12月26日(水)~29日(土) 後期/1月4日(金)~5日(土) (全6日間) 時間 14:30~18:50(4科目)

今まで7回の入試でしっかりと全員合格を達成し、一年間でも基本からしっかり学朋舎Let'sで学べば6年生からでも受験可能であることを証明した「基礎から中学受験」コースを今年も開講します。一般的に中学受験の集団塾で今から始めると最も大切な5年生のカリキュラムが抜けてしまい、ついていくことが難しい場合が多いですが、このコースでは5年生の冬期講習から6年生の夏期講習までで中学入試に必要な基礎知識を身に付けます。(5年上の内容から学んでいきます。)中学入試を急に思い立った方・今まで塾に通ってきたけど学習内容の身につけていない方にお勧めです。伸びが早い子は通常クラスに編入することもあります。

●「基礎から中学受験コース」過去の合格校/晃華(途中から通常コース)・帝京大・大妻多摩・恵泉・桐光(男・女)・桜美林・日大三・多摩大聖ヶ丘・八王子など

多摩センター校 2018年入試合格者数

- 男子校/海城中1名、芝中1名、桐朋中2名、東京都市大学付属中(Ⅱ類)1名、立教新座中1名、明法中1名
- 女子校/鷗友学園中1名、晃華学園中4名、日本女子大附属中1名、大妻多摩中6名(2名特待)
- 共学・別学校/早稲田実業中1名、明大明治中1名、帝京大学中7名、国学院久我山中(ST)2名、穎明館中2名、桐光学園中3名、桜美林中14名、三田国際中1名、日大第三中2名

※1月までに学朋舎Let's多摩センター校に在籍した生徒のみの数字です。2018年度入試のみの実績です。

合格体験記

早稲田実業中・明大明治中・帝京大学中合格! 横山 翼君(上柚木小)



僕は新4年生の時に、レッツに入塾しました。最初の頃は、算数の基本問題はできましたが国語はあまりできませんでした。しかし山本先生が問題の解き方を丁寧に教えてくれたので徐々に点数がとれるようになりました。6年生の夏期講習では、算数は思考力養成プリントに取り組み、国語は選択問題の極意を習い、成績が上昇していきました。過去問にとりくみ始めた頃は算数と理科で思うように点が取れませんでした。ですが、算数は分からない問題を質問するうちに、とるべき問題が分かるようになり、理科は相澤先生が解き直しを一緒にやってくれて、だんだん点数が取れるようになりました。そして迎えた本番では、苦手な分野の問題が出てきましたが、諦めることなく問題に取り組み、合格を勝ち取ることが出来ました。3年間支えてくださったレッツの先生方、本当にありがとうございました。

日本女子大附属中・大妻多摩中(特待)・土佐塾中合格! 小柳 清さん(松木小)



4月からの中学校生活に、私は今とても心を躍らせています。なぜなら私はずっと通いたかった日本女子大学附属中学校に合格することができたからです。私は4年生の夏からレッツに通い始めました。最初の頃は算数があまりできずにいましたが、レッツの先生方の指導のおかげで自信を持って解けるようになりました。過去問の国語は思った以上に難しく、なかなか点を伸ばせず苦労しましたが、先生の細やかな指導のおかげで、理解を深めることができました。そして受験当日は落ち着いて問題を解くことができたと思います。結果は第一志望の日本女子大学附属中学校合格と大妻多摩中学校の入学金免除者での合格を勝ち取りました。たとえ模試の結果が悪い時があっても、絶対に入りたいという強い気持ちがあったからこそ、今につながっていると思います。最後まで丁寧に指導していただいた、レッツの先生方に感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございました。

Let's

のお約束

お約束1 量をこなすだけの中学受験の否定

お約束2 質問しやすい環境

お約束3 私立中学校の最新情報

お約束4 ご家庭の意向の尊重

お約束5 中学入試へのこだわり

Let's

が選ばれるポイント

ポイント1 中学受験専門塾のこだわり=授業の質

ポイント2 「お客様」を作らない

ポイント3 保護者会・面談の充実

ポイント4 受験学年のサポート体制

ポイント5 中学受験にこだわりをもった「教師」が作った塾であるということ

ただ「問題をひたすらやらせて答えあわせをする」のでは真の授業とは言えません。Let'sの授業では「考え方をしる」ことにこだわります。また5年生まで伸びきってしまうような宿題責めを否定します。5年生までは基礎学力養成に重点をおき、6年生で応用力に磨きをかけます。

授業は定時に終わることを目指しますが、質問受けは生徒の納得いくまでトコトン付き合います。先生の都合を優先させることはしません。また、少人数制ですので「いくら待っても質問できない」ということもありません。

地域の私立中学校はもちろん、その年の受験生が希望する中学校を複数回積極訪問し、常に万全の準備で入試を迎えられるようにフォローします。最終的に合否を分けるのは、わずか数点の差です。その時にその数点をもちとるために最大限の努力をします。

志望校の選定や、受験勉強と習い事との並立など、塾の都合での難関校合格至上主義はとりません。もちろん難関校志望の方には相応の受験態勢をとりますが、ご家庭の意向を最大限に重視し、生徒の特性を捉えた上でのアドバイスを致します。

中学入試、特に算数は特殊です。専門性をもった「中学受験のプロ」が教えなければいけない授業になってしまいます。Let'sでは中学受験を熟知した教師が、入試問題を見据えて各学年でどのように指導していけば一番効率的かを考えて指導します。

Let'sでは中学受験は保護者のサポートが重要と考えています。しかし、決して勉強を教えるということではなく、家庭学習の習慣をつけてもらうことや健康面・精神面のサポートといった面においてです。保護者の方に安心して受験生活のフォローをしていただくためにも、保護者会や面談を2ヶ月に1回のペースで開いています。もちろん、日々の電話相談や面談時期以外の面談も大歓迎です。

Let'sでは毎年その年の6年生の受験予定校を訪問して情報を収集します。それも、「ただ説明会を聞きに行く」といったレベルではなく、小さな塾ならではのネットワークで独自の情報を集めて、受験生にフィードバックします。受験相談では画一的な偏差値による相談ではなく、一人一人の生徒の特性を捉えた上でのアドバイスを致します。そして、過去問対策では一人一人に丁寧に添削して合格に導きます。

大手を始め、大多数の塾は「起業家」が様々な業種の中からたまたま「教育産業」を選んだにすぎません。ですから、コース設定などの発想は「利益がでるか?」ということになります。しかしLet'sは教師が作った塾ですから、まず先に「学習効果」を考えています。Let'sの発想は「子どもたち・保護者のためになる事をまずやろう!」ここに尽きます。